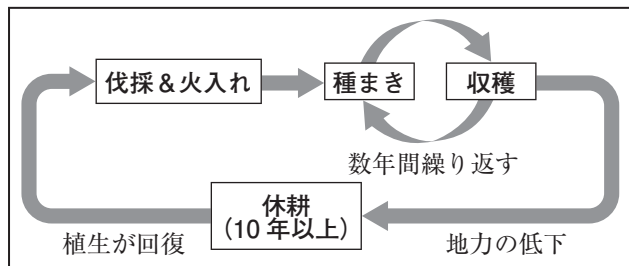


(2) 南アメリカ州について、次の①～④の問いに答えなさい。

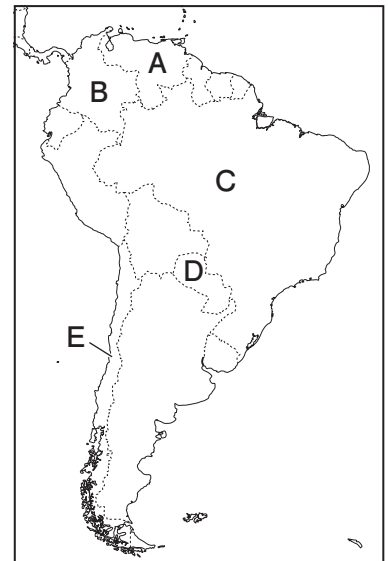
① 資料1は、熱帯林が広がるアマゾン河流域でよく見られる農業を、模式的に表したものである。このような農業を何というか、あとのア～エから1つ選びなさい。

[資料1]



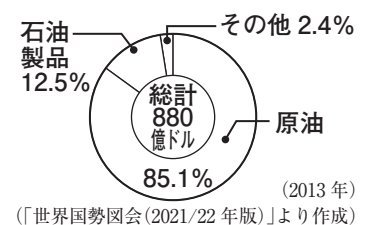
- ア 混合農業 イ 酪農
ウ 焼畑農業 エ かんがい農業

[地図2]



② 資料2は、地図2のA国の輸出品を表している。このA国のような、特定の輸出品によって成り立つ経済を何というか、書きなさい。

[資料2] A国の輸出品



③ 資料3は、地図2のB～E国の人種・民族の構成と主な言語を表している。もともと南アメリカ州には、先住民が多く生活していたが、現在では先住民の割合が低い国が見られる。先住民の割合が低くなったのはなぜか、資料3をもとに、歴史的な背景に触れて書きなさい。

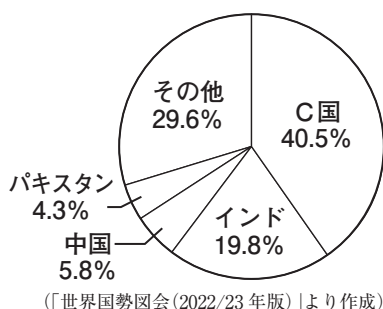
[資料3] 南アメリカ州の主な国の人種・民族の構成とおもな言語

国	人種・民族の構成				主な言語
	ヨーロッパ系	混血	先住民	その他	
B	20%	72%	0%	8%	スペイン語
C	53%	34%	0%	13%	ポルトガル語
D	2%	95%	2%	1%	スペイン語
E	20%	75%	5%	0%	スペイン語

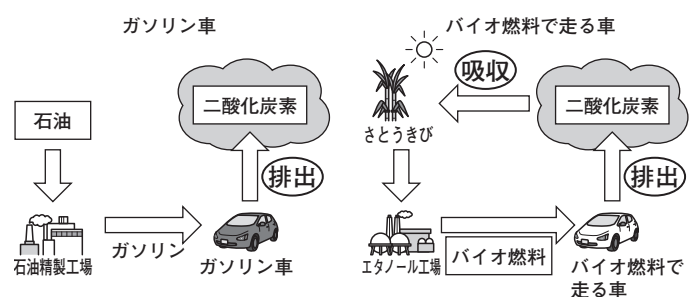
(2009年「世界年鑑」より作成)

④ 地図2のC国では、バイオ燃料（バイオエタノール）で走る自動車が普及している。その理由を、資料4と資料5をもとに書きなさい。

[資料4] さとうきびの生産量の国別割合



[資料5] ガソリンとバイオ燃料の製造と利用の違い



設問番号		正 答 例	準 正 答 例	留 意 事 項	
① ⑧	(2)	① ウ			
		②	・モノカルチャー経済 ・モノカルチャー		
		③	スペインやポルトガルの植民地となったことで、移住するヨーロッパの人々の割合が増え、先住民との間の混血も進んだから。	スペインやポルトガルの植民地となったから。	同意であれば可。
		④	・バイオ燃料は、二酸化炭素を吸収するはたらきのあるさとうきびを原料とした環境にやさしいエネルギーであり、そのさとうきびの生産量は、C国が最も多いから。 ・原料であるさとうきびの生産量が多く、ガソリンと違ってバイオ燃料(バイオエタノール)は、こかつする心配のない、再生可能エネルギーだから。	・バイオ燃料は、二酸化炭素を吸収するはたらきのあるさとうきびを原料とし、そのさとうきびの生産量はC国が最も多いから。	・同意であれば可。 ・環境問題やエネルギー問題に触れていけば可。